

会 議 録

会議の名称	第五次座間市総合計画策定に係る地区別懇談会 【入谷西、入谷東、立野台、西栗原、明王】		
開催日時	令和3年11月15日（月） 19時00分～21時00分		
開催場所	サニープレイス座間		
出席者	【市】 佐藤市長、三浦副市長、大木企画財政部長 【参加者】 市内在住、在学、在勤の方 21人		
事務局	企画財政部企画政策課		
会議の公開可否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴者数	一人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議 題	これからの座間市についての意見交換		
資料の名称	次第 これからの座間市について 補足資料 第四次座間市総合計画の取組結果（一部抜粋）		
会議の結果			
	意見交換		
議事の詳細			
	別紙のとおり		

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 「これからの座間市について」説明

} 別ファイルにまとめています。

4. 意見交換

【コンサルタント】

それでは、御意見のある方、挙手いただければと思います。いかがでしょうか。では、真ん中左の前から2番目の方、お願いします。

【参加者】

説明ありがとうございました。私、ちょっと思ったのですが、第四次座間市総合計画、別紙の資料、結果を見させていただきましたけれども、やっぱりPDCAをする必要があると考えています。何を言いたいかという、先ほどの人口のページ、15ページを開いていただくと、確か13万2,080人という人口で、これ、第四次の推測よりも増えているのですね。増えているのです。これ、なぜですかということ。そこを十分にすると、もしかするとそれは座間市の強みとなります。何かが魅力で入って来られた方、生まれて増えた方もいらっしゃるかもしれませんが、外の方から入ってきた方が何で座間市を選んでくれたのか。そこが強みであるならば、その強みをどう活かすかとか。日本の人口は下がるのですが、座間市は増えてきている。うれしいことに。その強みは座間市の魅力かなと思って、それを次の8年にさらに継続していただければなと思っています。ぜひそこはチェックしていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。第四次の結果等も含めて、PDCAないしは人口が増えているといったことに対する御意見だったかと思います。その点、いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。まず、総合計画のPDCAというところですが、毎年行政評価というものをしております、その中で進行管理といいたし、各課でそれぞれの事業について総括をしたり、反省をしたりということで、次年度に向けての取組について考えている状況があります。

人口の増加というところですが、この明確な理由というのはなかなか分析し切れない部分はあるのですが、本市の場合も新しいマンションが、大きなマンションが建ったりですとか、あと、企業さんが、大きな工場などが撤退をした後、住宅になったりという事もございますし、また、一軒家を買われた方が高齢になられて、それで、その後、新しい住宅が建つというような状況もあると思います。それは本市がやはり都内からもアクセスが比較的良いという、1時間半

ぐらいで東京にも出られますし、また、横浜などにも30分ぐらいで出られるというアクセスが良いという事や、買い物なども利便性が良いという事などがあるのかなという事と、あと、比較的一軒家を手に入れるのに高くないというか、比較的手が出しやすい金額で買えるという事もあるのかなと感じています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、御意見いかがでしょうか。では、こちら前から2番目の方、よろしく申し上げます。

【参加者】

入谷東四丁目に33年ぐらい住んでおります〇〇と言います。どうして33年前に座間に移り住んだかということ、非常に単純でございます。息子が小田急線の沿線の大学に入学した。娘が、小田急線の沿線の中学校に入学したということで、都内の三鷹という所から引っ越してきたのですが、そういうことで、勤めているとき、66歳までは会社にずっと行ってございまして、自宅から会社、会社から自宅ということで、ほとんど座間のことを知らないできました。66歳になって会社を終わって、さて、どうしようか。1番手っ取り早いのは老人会に入ることだ。老人会に入って、近隣の方々とよく分かるように親しくさせていただければという考え方で老人会に入った。6年前にいろいろな方から御支援いただいたり、御援助いただいたりして、入谷第二地区社会福祉協議会というのを立ち上げました。だんだん深みにはまってまいりましたけれども、座間がだんだんかわいくなって、やっぱりここは俺の住む土地だなというふうに思ってきましたけれども、会社勤めのときは、安全で安心であれば特に問題ないなというふうに思っていましたけれども、やっぱりだんだん分かってくると、将来のまちづくり、僕は、活気あるまち、そういう部分でお願いしたいという、活力のあるまち、どうしたらこの座間が活力ある、周りの海老名だとか大和だとか綾瀬だとかに負けずに、活力あるまちづくりをしたらいいのかと。僕は、やっぱり、佐藤市長も言ったけど、トップダウンじゃないです。上から落とし込んでじゃなくて、やっぱりボトムアップ、住民からの持ち上げが1番大事だと思う。やっぱりそうなると、集う場所が少な過ぎる。調べてみると、コミセンが八つもあるのね、座間市に。東地区と北地区の文化センター、それから、小田急相模原のところに新しい施設ができて、かなり集う所があるけれども、それは大きな箱物なので、僕なんか思うけど、大きな箱物は一つも要らない。だってここ見てごらん。これ、いつできたか知らないけども、雨漏りしたり、もうこれだって、この建物だって大改造しないと持たないじゃないかって思う。市役所もそうです。かなり傷んでいると思う。だから、僕は個人的には、これから大きな箱物なんか一つも要らないと思っている。その代わり、地域を大事にしてほしい。地域のために集まる、集う場所が欲しい。僕はたまたま天台という所に住んでいますけれども、入谷東四丁目、三丁目には、自治会で持ってらっしゃる集会所かなりあります。例えばうちから近いのは、新羽根沢、あそこにはかなり立派な集会の場があります。行

政からもきつと援助があつてお建てになつたと思ひますけれども、かなり立派なのがある。また逆に、信販座間の所も木造の平屋の集会所があります。ところが、かなり古いので、地震に耐えられないだろうと、自治会長が使わせないように持っている。そういうことで、入谷地区においても、持っているけども使えないところがある。集う場所がすごく少なくなる。コロナで集うところなかつたのです。やっぱりこれから活力あるまちをつくっていくには、住民の集う場所があつて、それで喧々諤々とお話し合いをして、それを上へ持ち上げてとかいうことが大事じゃないかと思ひます。

たまたま私どもの例を取りますと、これまた利益誘導になるかもしれないけども、うちのそばに児童館、座間児童館つてあります。この底地は、昔は天台の住民の人たちの所有だつたそうです。私が33年前に引っ越してきたときは、木造の2階屋でした。下が児童館、図書室もあつて、かなり皆様が当館の中で遊んでいた。2階が地域の住民の集う場所でした。それが、やはり木造で地震に耐えられないということで取り壊して、平屋のプレハブの児童館ができた。このできたことによつて我々のはみ出してしまつた。児童館は御存知のように児童優先です。水曜日は閉館、月・火・木・金、この4日間のうち午前9時から12時までしか使えない。ただ我々だけが使うのではない。いろいろな地区の人たちが来てお願いして順番を取る。天台地区だけが優先しているわけじゃない。だから、そういうことで、やはりこの前も天台地区の人間がみんな集まつて、こういう市長さんとの懇談会、何の要望があるつて聴いたら、二階建てにしてほしいという、これが出ているのです。それで、下は児童館、子どもたちと融合できる場所じゃないか。昔の木造2階建てのときは、子どもたちと、絵本の読み合わせにしても、編み物とか、宿題の手伝いとか、それが地域住民の一つの楽しみだつた。そういう楽しみをこれから、子どもを大切にするとすると、子育て、教育、やっぱり学校で教育するだけじゃないです。地域の住民が子育てをする。これがこれからの大事なところだ。だから、そういうことで、やっぱり集う所を、大きな箱物なんか要らないと、集う所を拠点に、よく座間市の中を整理して、我々たまたま利用できるようだけれども、そういう複合的なシステムは、コミセンはすごい、確かに立派だし、いろいろなものも揃っている。ただ、それはそれで、やっぱり地域の小さな、ミニチュアのコミセンを作つて、地域の住民と子どもと一緒になつて、そして若い御夫妻と融合する、お年寄りと融合する、世代をまたいで座間市を活気ある市にしていこうというのは自然と生まれると僕は思う。だから、そんなところで、ぜひ、大きな箱物は要らない。入谷にどうしても作れつて言う人もいるかもしれないが、僕個人としては要らない。小さなそういうもの、老人憩いの家もある。ただ、アップダウンがあるからなかなか。風吹いたり、雨降つたり、北風が、南風ばかりじゃない。そういうことで、いろいろな施設はあるけれども、そういうミニの部分。空き家もいっぱいあるから、その辺をどうするか。前から市議会とかでお尋ねいただいて、議員の皆様方がお話ししているけど、なかなか前へ進んでない。水面下で一生懸命やつてらっしゃるのだろうけど目に見えてこないから、どうなつているのだろうつていう気がする。そんなことで、僕は、個人的な意見だけど、大きな箱物は要らないから、地域にミニチュアの部分を作つて、集いの場所を使つて、子ども、若

い夫婦、中年の働き盛り、年寄り、その世代を横断的にまたがって地域を活性化していくということをお願いしたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。まず、活気あるまちというようなテーマをいただきました。今日お示したテーマの中でも地域振興という視点かと思います。未来デザイン会議でもにぎわいとか活気とかそういったテーマがあるので、重要なテーマかなと思います。その中でも、活動の場、集う場というものが必要であると。それは箱物だけではなくて、子どもから大人、高齢者まで多世代が活動できる場所というものが必要になってくるのではないかというような御意見だったかと思います。それに関連して、その他の方、いろいろ地域で活動されていると思いますけども、では、こちら前の方、よろしくをお願いします。

【参加者】

私、座間市の介護保険課から認定を受けていますフレイルサポーターというのに所属しています。仲間たちと芹沢公園で「あおぞらサロン」という、老人とか高齢者を集めて、毎週、歌を歌ったり、昔の童謡・唱歌、そういうものを歌ったり、公園の中を歩いたり、それから、お口の体操とかお顔の体操、健康年齢を延ばすためのグループをお手伝いしております。

それで、3年あまり続いたらしいです。私、最初からいなくて途中からお手伝いし始めたので、初めは分からないですけれども、皆様とても喜んでくださって、毎週月曜日の10時から11時半まで芹沢公園の北管理棟という所を使わせていただいて、あそこはしっかり明るくて良い場所ですよ。使わせていただいて喜んで集まっていたけれども、コロナのこともありまして、その前のときは50人だの60人くらい集まってくださって皆様楽しんでいましたけど、コロナでだんだん減ってきたりしたのですけど、そのコロナとは別に、あそこは公園にいらっしゃる方が休憩なさる所だから、中で歌ったりすると、そういう人の邪魔になるからっていう事でクレームが出たそうで、市の方から、あそこでは歌ったり、ギターの伴奏も、楽器を弾いたりすることはやめてくださいって言うふうに言われたのです。それで、中では歌ったりしないって言うことを約束して、今は、今日もやってきたのですけれども、外に椅子を持ち出して建物の外で集まってラジオ体操したり、歌を歌ったりしているのですけれども、今日みたいにお天気の良い日は良いのですけれども、寒い時、これからだんだん寒くなってくると息も白くなったりもしますよね。そういうときにどうすれば良いかしらって言うことで困っているのです。使えないと、外では。夏も結構暑くって、汗びっしょりになりながら、それでも皆様楽しんで外で我慢してくださっていたのです。市役所の方に相談しましたら、あそこはそういう歌ったりする所じゃないから、歌える場所を他で探してくださいって言われたので、他も当たって、いろいろ児童館とか2、3当たってみました。そしたら、入谷地区で老人の介護付きケアホーム「SOMPOケア ラヴィーレ」ってありますね。あそこの方が、どうぞお使いくださいって言うていただいて、それで大き

なお部屋ですけれども、この間お話ししてきましたけれども、とってもありがたいお話ですけれども、肝心の集まる人たちが芹沢公園の近くの方なのでそこまで歩いて通えない。バスの乗り継ぎとかしないと行けないみたいな、だから行けないということで、皆様にお聴きして、どこが良いかということ、児童館とか集会所とか2、3あったのですけれども、そしたら、入谷は遠いからやっぱり芹沢が良いって、どんなに寒くても、お部屋の中に入らなくても、厚着をして芹沢に集まりたいって言うのです。集まる方がおっしゃるには、私たちがここまで歩いてくるのが健康のためだ。皆様に会って元気をもらって帰るから、それを楽しみにしているから、どうか無くさないでくださいっていうふうに頼まれたのです。私たちが何とかやりたいと思うのですけれども、いかんせん遠くて、せっかくの良い場所が使えないのです。だから、今のところはやっぱり外で椅子出してやっているのですけれども、せっかくそんな良いお部屋を使ってくださいって言うふうに言ってくださったので、私たちが何かできることがあったらお手伝いしたいのですけれどもというお話しました。そしたら、その中の方たちにお口の体操とかって言うのはとてもやりたい。前はやっていたのですけれども、職員さんが忙しくてそこまで手が回らないのでと言って、とっても喜ばれるのですね、やってくださいって言うことで。具体的なのは今相談中ですけれども。私もその近くに住んでいるのですが、入谷三丁目ですが、うちの周りにも一人暮らしの高齢者が結構いらっしゃるのです。その方たちにもやっぱり利用させていただきたいし、この土地のほうでもやってほしいって言うような声もあるので、できればあそこの場所を使わせていただいて、ゆくゆくは外の方もって言う。外の方も入ってくださいって言うふうにおっしゃってくださっているのです、それはそっちのほうで別のお話が進んでいるのですけれども、芹沢公園の方が良い考えが見つからないので、どうしたものかなって悩んでいるのです。

せっかく皆様が集まってくださって、健康のために一生懸命頑張って、歌を歌うことって言うのは、コロナの時代、目の敵のように言われるのですけれども、昔の歌を歌うって言うことは、やっぱり若々しさを取り戻すとか、それから、元気が出る、脳の活性化をするとか、いろいろ役に立つのですよね。そして、歌う日と歩きの日があって、歌えないのだったら、じゃあ、歩く方をすれば良いじゃないって言うと、歩きのほうは少ないのです、参加者が。どうしても皆様が歌いたいっておっしゃるのです。足が悪い方とかもあるし、健康上のこともあるので、歩けない方もいるのですけれども、そういうことで先々どうすれば良いか、悩んでいるのです。せめて、10時から11時半までなのでお昼にはかからないです。お昼、管理棟でお弁当とか食べたいっておっしゃる方の邪魔にはならないと思うのですけれども、貸し切りにしていただくとか、そういう方法が特別に何かしていただけるとありがたいと思うのですけれども、緑友会の方に御相談したら、介護保険課の方々からお話ししてもらったらどうですかというふうに言われたのですが、お願いしてもちょっとなかなかスムーズに行かないみたいで、そういう貸し切りみたいなのをしていただくと、健康な高齢者がたくさん座間市にいられるように、私たちも一緒に頑張りたいと思うのです。私も高齢者なので、全く「情けは人のためならず」という言葉のとおり、自分もすごく励まされているし、自分の力にもなっているのです、お願いしたいと思います。

【コンサルタント】

それでは、いったん、今の御意見、活動の場に関するいろいろな実際の課題でありますとか、コロナに関して活動の場といった課題もあったかと思えます。あと、健康年齢ということで、高齢者の方のいろいろな活動の御意見だったかと思えます。前の御意見も含めて、市からよろしくお願ひします。

【市長】

それぞれに貴重な御意見いただきましてありがとうございます。今それぞれの方々からお話が あったとおり、今、本市では、社会福祉協議会、地区社協が中心となって地域サロンが行われて おります。そのような中で、地域サロンや子育てサロン、また認知症の方々の集いなど、様々な 集う場が欲しいというような意見はこれまでの懇談会の中でも挙げられています。大きな公共施 設などではなくても良いのでといったような意見も挙げられておりますので、そういったところ も含めて今後考えていかなくていけないと、課題として認識をしています。

また、公共施設ですけれども、御指摘のとおり、かなり老朽化が進んでいます。良質な公共施 設を次世代に引き継いでいくことが私たちの役割だと考えておりますので、公共施設の再整備計 画も立てさせていただいております。ただ、10年間のものは立てているのですけれども、公共 施設のうち、学校教育施設が床面積の半分を占めています。その学校施設の計画はまだ立ててお りませんので、そこがしっかりと決まると、なかなか全体的な予算の問題ですとか財源 の問題の見通しが立たないという事もあります。それをできるだけ早急に立てたいと考えていま す。

そして、地域で子育てをみんなですることがこれからの時代必要だと私も考えておりま す。今、コミュニティ・スクールというものが立ち上がっておりまして、今後、国の方針として も、市としても、コミュニティ・スクールをそれぞれの学校で立ち上げていきます。そういった ものも、今後の地域のコミュニティの形成のきっかけの一つになるのではないかなと考えており ます。地域の中には、公共施設だけではなく、先ほどお話ありましたが、福祉施設などでもホー ルなどを使って良いですよとお声掛けをいただいているものがあります。しかし、その情報が地 域の方たちに行き渡っていないと感じています。今回のSOMPOの関係もお話いただきまして、 介護保険課にも話をしたり、あと、地域の社協さんにもお話しさせていただいたりということで、 声掛けをして、だいぶ良いような形で話が進んでいると聴いております。そこだけではなくて、 様々な福祉施設でもホールなどを使って良いですよといった所もあつたり、一般の会社、企業さ んでも、大きな会議室があつて、そういう所を使つても良いです、地域の方々に使つていただき たいですというような申し入れもあるので、そういった情報をもう少し皆様で共有できるような 仕組み作りは必要だなと感じております。最小の経費で最大の効果が得られるような形にしてい

くには、今ある資源、地域の資源をしっかりと有機的にうまく活用ができるように、皆様とつなげていくということが最も大切だと思っています。

そして、地域サロンの件ですけれども、芹沢公園のあおぞらサロンさんのお話ございました。大変私も良い取組をしていただいていると感じているのですが、公園という所は、色々な世代の方が利用をされまして、年間で約1,300件の苦情が市役所に届いています。その度に市役所の公園緑政課の職員は現場に出向きまして対応しています。それは夜中であろうと苦情が入ったり、水が出ているとか、様々な対応をしているわけですが、やはり地域の皆様に気持ち良くそれぞれの立場の中で使っていただくということが1番良いと思っていますので、今後は、行政だけで管理をするのではなくて、例えば指定管理だとか、様々な協定を締結するとか、そういった手法もございまして、今実際に協定を締結して活用していただいているものもあつたりします。芹沢公園の場合、お話の中にありましたとおり、緑友会さんと色々話し合いを、緑友会というのは、芹沢公園でボランティアをしている団体の集まりですけれども、使い方について緑友会さんと話し合いをしながら行っている部分もございまして。特にコロナ禍だったので声を出すということに対してだいぶ苦情が入ったりします。声を出していることだけではなく、少しでも人が集まっていると、それに対して苦情をおっしゃる方もいらっしゃいますし、コロナに対する感覚って本当に人それぞれでかなり差があるので、なかなか全部に対応するのは難しいというところで、本当に行政としても対応に苦慮しているところはございまして。利用者同士でしっかりと話し合いをしていただいて、ルールをそれぞれに決めていただいて、皆様が気持ちよく使えるような仕組み作りができれば良いなと考えておりますので、本日いただきました御意見なども含めまして、今後の課題として考えていきたいと思っています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。意見交換を始めて30分くらい経ちましたけれども、できるだけたくさんの方に発言していただきたいと思っておりますので、御意見のある方、できるだけ簡潔にいただければと思います。その他、今、別のテーマでも構いませんので。前から2番目の方、よろしくをお願いします。

【参加者】

今の続きという感じですけど、先ほどのおっしゃっていただいた、地域を活性化するということですが、私、コミュニティセンターを使いたいとかそう言ったら、これはこういう理由でできないと言われて、コミュニティセンターって自治会が運営管理しているのですね。自治会に現在入っている方ってどんどん減っていると思うのですよ。昔、自治会って、入っていると、ごみが捨てられるとかいう話ですけど、今は自治会に入らなくてもごみは自由に捨てられます。自治会に入っていると、慶弔、亡くなった方とか生まれた方とかお知らせがあつて、近所の誰々が生まれたね、おめでとうなんて言うのですけど、今はもう回覧にないです。だから、自治会そ

のものが何かあって無いようなもの。自治会の方も年齢がどんどん上になって、自治会の年齢の上の方が管理していると、若い方が、逆に言うと、何かこういうのに使いたいと言うと、これは何とかだからできないとか、何かよく分からないですけども、私の知っている所では、武蔵野市、御存知だと思います。自治会無くなっています。横浜市は、コミュニティハウスっていう所は自治会じゃなくて管理団体に、要するにハーモニーホールとかああいう形で管理のところが運営管理している。市が支援していますけど。だから、自治会に任せるとか、先ほども地域間で仲良くやってねって言うんですけど、年齢差があるとそうはいかなくなっている。そこはやはりそういう、ちょっと今までの考えを変えて、自治会はメリットが何なのかを踏まえて、あと8年後ですよ、自治会って本当に必要なのか、老人会は良いですよ、子ども会もあって良いです。でも、自治会っていうのは、中間ですけど、何か意味がどうなのかなと思ってまして、活性化するためには何をしなくちゃいけないのか、そこはもっと議論する余地があるのかなと思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。あと、隣の方も先ほど手を挙げていただきましたので、よろしく願います。

【参加者】

入谷東三丁目から来ました〇〇です。今回のまちづくりのテーマでなかなか意見が出しにくいんですけども、確か2、3年前に公共施設の再整備計画というのができたと思うのですが、それを第五次の総合計画の中でどういうスケジュールでやっていくのかというスケジュール感もぜひ第五次総合計画の中に織り込んでいただきたいです。それと、あの再整備計画は結構議論がありまして、1番気になったのは、青少年会館をサニープレイスと合体させると。そういうふうなちょっと無茶苦茶な話もあったので、あの再整備計画は多分あれでオーソライズされたと思うのですが、やはり新しい第五次計画の中で見直しを含めて考えていただきたいというのが1点。

それから、先ほど大きな箱物は要らないよという中で、座間市に無い箱物があるのですよ、一つ。それは、郷土資料館が無いです。これは市制50年経って郷土資料館が出来てないっていう市はどこにもないです。海老名市はありますよね。温故館がありますし、それから綾瀬市もあります。特に神崎遺跡みたいな所があって、そこで立派な郷土資料が作られている。座間市の場合にはどういうわけか、長年あまり大きな声を生涯学習とか教育委員会が出さないのかもしれないわけです。座間市の歴史を考えると、どうしても郷土資料、江戸時代からの資料とかいうのはどんどん無くなっていくわけです。ですから、それが確か去年辺り、佐藤市長時代かは分かりませんが、市長に対して、郷土資料館作ってくださいという要望書が、そういう検討をしている団体から出たと思うのですが、今回の第五次計画の中にはぜひこの郷土資料館を新しいまちづくりの中で入れていただきたいと思っています。私は自然環境とかに関心あるので、郷土資料館というのは必ずしも古文書を集めるとかそういう事ではなくて、本当は自然環境の郷土資料、

例えば生き物とかも郷土資料にはうたっているわけで、厚木市では郷土資料館の中に生物関係の資料もちゃんと入っていますし、だから、そういうやつを少し盛り込んでいただきたいなというふうに思っています。

それから、御返事は特にありませんけど、座間市に市民協働推進条例というのがあるわけです。どうも最近の市民協働というのは、市民に投げ掛けて、市の管理者の方は、自分たちで権利を持っているから、自分たちがやりやすいようなことを考えていて、市民と一緒にやろうじゃないかっていう熱意が無くなっているのではないかなと。行財政の、特に今回いろいろ議論出ましたけど、そういうふうな協働に関しての見直しなんかもぜひ検討して、一緒になってやるっていう感じがどんどん少なくなって、もう我々の管理権限だから、あなたたちは何も意見言わなくて良いよと、そういう対応が最近大きくなっていると思いますので、やはり市民協働推進条例などの発展的なところをぜひ御検討いただきたい。第五次計画の中でも市民協働についても触れたいと思っています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。もう一方手を挙げていたと思うので。前から2番目の方ですか。

【参加者】

実は私は緑ヶ丘なので、本来は木曜日ですけれども、都合が悪くて、今日参加しています。

第四次のほうの6ページで、7のところで「地球にやさしい活力あるまち」、そこでごみの分別や減量化、資源化、これはすごく優れていて、テレビで紹介されたりしてとても素晴らしいことだと思いますけれども、私たち、座間は、座間市で50年ですよ。引っ越してきたときには高座郡座間町でした。その頃から急に人口が増えて、その頃は私たちも元気だったのですけれども、今は、うちの自治会では、各ごみの集積所でネットをもらってきて、その周りにチェーンを付けてカラスにやられないようにしているわけです。非常に重たいのです。そうすると、ほとんど皆様80歳を過ぎていますから、そのネットを出したり片付けたりするのが、もうとてもじゃないけどやれないっていうことと、一つの集積所に18軒ぐらいが出していますけれども、とてもできないからって、周りの人がボランティアでやっているか、あるいは当番でやっているような状態ですけれども、中には、うちの住宅だけじゃなくて、他から持ってきてぽんとその上に乗せてしまうような人も最近はちらほら出てきて、その片付けもあるのです。

今、ごみの処理に関しては、座間と綾瀬と海老名と同じ処理場を使っているわけですが、綾瀬と座間がやってなくて、海老名は分別収集をしているっていうことで聞いて、座間市のほうもそれをしていただけないかなということで、今日提案したいなと思ったのです。スーパーに行って、スーパーのレジ袋がなくなりまして、皆様、ごみ袋も買ってらっしゃるわけですから、ぜひそのごみ袋で有料化にしても戸別収集ができないものかと思って来ました。よろしくお願ひします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。ただ今、三つほどテーマをいただいたかと思えます。

一つは、前の件に関連して、コミュニティ、自治会の加入率が減っているということで、他市等では他のいろいろな方法を変えて工夫してやっているというようなところ、それと、協働のまちづくりの見直し等の御意見も少しその考え方には関連してくるかなと思えます。もう1点は、公共施設の再整備計画という、これ、個別の計画なので、総合計画の中でスケジュールとかがあっていうところはちょっと難しいかとは思いますが、郷土資料館も含めて、お考え等があればどうかなと思えます。あと、最後、ごみ問題ということで御提案を含めていただいたかと思えます。その3点についていかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。まず、地域の活力というところで、自治会の加入率の問題等に触れていただいたかと思えます。御指摘のとおり、自治会の加入率は年々低下をしております、今、50%を切り40%台だということです。他の懇談会でもその問題については御意見をいただいております。自治会の加入に関して、メリットという部分が分かりづらいという意見をいただいております。本当に今、ごく一部の方がボランティアとして担っていただいて、実はこの自治会と社会福祉協議会の会員というのもリンクをしまして、社会福祉協議会は、自治会加入をされている方々の中の、またさらに地区社協に入っている方たちの会費と様々な寄附などで成り立っていますけれども、地域の福祉を担っている部分があります。例えば先ほど話に出ていた地域サロンなどの取組も地区社協などで担っていたり、そういったところがあります。自治会は、これからやはり地域福祉、そして災害の対応について行っていくには必要、これまでも必要なもちろん存在であって、これからもやはり必要な存在だと思っております。その自治会活動を今後も活性化させるために、例えば地域割りの部分というか、各自治会によって、ある一つの地区では10いくつも自治会があったり、あるところでは一つの地区に二つぐらいであったり、丁目ごとで自治会があったりという、そういった差もありますので、そういったところも整理をしていかななくてはいけないのかなという課題も他の懇談会でも示されておりますので、それが、こちらでお願いして、自治会それぞれ歴史や事情があって分かれている部分もあるので、御理解をいただけるかどうかということもありますけれども、自治会総連合会がありますので、総連合会ともしっかり話し合いをしながら進めていきたいと考えております。

コミュニティセンターですけれども、各地域で自治会、また子ども会やそれぞれに運営委員会というのも結成してまして、その運営委員会のメンバーは、その地域それぞれで違うのですけれども、自治会や子ども会や老人会や、それから社協やPTAなどが入っているところもありますので、いろいろな世代の方たちの意見を基に運営されているのですが、それぞれの運営委員会に指定管理をしているので、その中で運営の方法については話し合いがなされています。しかし、

柔軟な対応ができていくかというところは、御意見をいただきましたので、また考えていきたいと思っています。

公共施設の再整備計画ですけれども、一応スケジュール等はその中で示させていただいておりますが、財源の確保という課題が最も大きくございます。その財源の確保も含めてどこまで進められるかというところは大きな課題だと思っています。その中で、郷土資料館のことについて御意見いただきました。この郷土資料館については多くの方々からも御意見をいただいております。今、郷土資料館の検討委員会から教育委員会に御意見をいただいております。教育委員会で意見をまとめているところでございます。その意見が出ましてから、また市としてどのような方向で進んでいくかということを検討していくという段階でございます。郷土資料館はもともと本市にあったものですが、建てるということで約束の下に、老朽化をしたので取り壊しをした経過がございますので、今後のやはり財源の確保というところが、前の市長も、郷土資料館は欲しいけれども、なかなか財源の確保ができないといった思いも議会の中でも述べられていたこともございます。その財源の確保というところがやはり1番課題だと思っております。ですが、やはり座間市の歴史というものを皆様にご覧になっていただく、今ある様々な資料がございますが、それが学校や公民館などの倉庫などに眠っている状況でありますので、その状態はやはりよろしくないと思っていますので、何とかして郷土資料館の建設の実現に向けて進んでいきたいという思いはございます。財源の確保というところが1番の課題だと思っています。

それから、協働についてでございますが、おっしゃるとおり、座間市には協働推進条例などがございます。私は、共に創る「共創」ということを掲げさせていただいております。これは、目標設定やその手法までも含めて、様々な各所で市民の皆様や市内の団体や企業の皆様と協働をもう一步進めたいという気持ちでこの方針を打ち出しておりますので、そういったところも含めて今後の取組を考えていきたいと思っています。

それから、ごみの課題でございます。お話をいただきましたけれども、今、座間市はごみの減量化の取組をさせていただいております。これは本当に市民の皆様方の御協力のおかげですが、今、小田急電鉄様と「サーキュラー・エコノミー」という取組をしております。それは、各収集車にタブレットで、今どこにいて、どれだけのゴミをこの集積所から積んだか、どのくらい収集車に空きがあるかということを見える化しています。それで、こちらが少し余裕あるのでこっちに回って積んでくださいというような指令が出されて、かなり効率化が進みまして、その効率化した分で剪定枝の収集をしまして、その剪定枝を市内の企業さんに持ち込み、バイオ燃料ということでチップ化をしているという状況です。お話があったとおり、海老名では有料化をし、戸別収集をしております。分別は各市でやっているのですが、有料化に関しましては、3市でもともと話し合いをしていたのですが、海老名さんが開始されたわけです。本市として有料化についてどのようにしていくかというところは、大変課題だと思っております。戸別収集してほしいという御意見もあれば、やはり戸別収集はやめてほしいという御意見ももちろんございます。減量化という部分でいいますと、有料化することで一時期は減りますけれども、なか

なか慣れてしまうと減らなかつたりということもありますし、また、戸別収集で、道路がある程度の広さがある地域は良いですけれども、本市の場合、相模が丘ですとか、小松原、ひばりが丘といった地域は、大変道路が狭いので、戸別収集が本当にできるかといった課題もあると思います。そういった課題がある中で、本市として戸別収集についてどのようにしていくかというのは、また今後検討していかなくてはいけない課題だと捉えています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、御意見ある方いらっしゃいますでしょうか。では、こちら前から、その方お願いします。その後、1番後ろの方、お願いします。

【参加者】

座間入谷東に住んでいる者ですが、協働事業で災害ボランティアネットワークを運営しているのですが、先ほど協働事業が市のペースになってしまうというのは、やっぱり受ける団体が市と対等に意見を述べ、条件闘争していかないと駄目だと思うのです。私、条例を作るときの立ち上げの委員会、その前の勉強会とか参加しておりまして、あるべき姿というのをやっぱり見本として見せていこうということで、今まで、防災教育、それから、幼稚園、保育園、今は児童ホームの防災教室というような形で、3園ずつに区切って取り組んできております。ですから、これはやはりどれだけ本気出して取り組むかという、受ける団体の問題もあるかと思えます。

ただ、協働事業、今の状態ですと、多分立ち消えになると思います。というのは、協働事業をやって受けた団体に何も残らないです。ボランティアだから何も残らなくて当然だというのはやはりおかしい。やっぱり活動したら活動しただけの団体へのメリットというものがあるべきだと思っております。この辺は、今後、協働事業をもう少し考えていかないと立ち行かなくなると思います。

市民活動サポートセンターは、指定管理者で非常にのんびりと市のお金でこのようにしてられる。自治会は、自治会総連合会、加入率40%を切りそうな団体が市の施設を独占して使っているというような形になっているのです。それで、私どももNPOになって、市内で事務所を探すといって、空き店舗だとか気安く行くと、今まで放置してあるわけだから収入はないわけです。話を聞いていくと、10万だとか20万だとかって話になるわけです。せめて固定資産税分とか、お庭の手入れをすとか、家に風を通すとかという作業を含めて借り上げて、足りない分を市が支援するというような形で、NPO法人なりから指定管理者団体が生き残れるような施策をしていかないと、ますます職員増という形になってくると思うのです。だから、その辺は一つ考えていただきたいと思えます。

それから、男女共同参画についてちょっと質問したいと思うのですが、ジェンダーの問題だとか色々取り上げられているのですが、今、新しい市をつくろうという話の中で壊れる話をするのは誠に申し訳ないのですが、御存知のとおり、恐らく近々に大きな災害が起きます。ですから、

第五次総合計画を立てて、それが軌道に乗った瞬間にまちが壊れるということも想定しないといけないと思うのです。その時、高齢化が進んでいると、福祉避難所と皆様簡単におっしゃるのですが、福祉避難所というのはどれだけマンパワーが要るかということ、もう1回市が本当に考えていただかないといけないと思うのです。その中で、内閣府は、避難所の男女共同参画に、女性の目線で避難所を運営しなさいと。スフィアの基準でもそれが出ております。ところが、男女共同参画の担当部署へそれを持っていくと、それは危機管理課のお仕事ですと簡単におっしゃるのですね。これ、何回言っても通らない。市民協働課に持っていっても通らない。これ、一体何なのだろうということで、やはり縦割り行政の弊害がこれは明らかに出来ていると思います。恐らく今、コロナの状況がどうなるか分からないのですが、皆様方はどうお考えになっているか分かりませんが、避難所が適正に使われるまでに24時間では足りません。皆様方は、体育館が開設できればみんなお入りになれると思っておりますが、そんな甘いものじゃないわけです。バックヤードがきちんと固まらないと、とりあえずの受け入れもできなくなるという問題が潜んでいるわけです。ですから、今、危機管理課と調整をしてやっているのですが、恐らく24時間では開設できないということと、高齢者が増えていく。それを二次避難所で消化できるか。

もう一つ、現実的に市内の介護事業所を見ていただきたいのですが、デイサービスをおやりになっている事業者は、やはりお家賃が安い所へ行くわけです。安いというのは耐震が弱い。となるとデイサービスが潰れるわけです。このときにその受け皿がどこになるのかということを考えていくと、非常に先行き暗くなる。私も早いとこ手引いて、災害が来る前にいっちなおおうかと思うこともあるのですが、そういう厳しい現実があるということはこの計画の中にきちんと入れておく。東大の目黒先生という方が、こういう計画を立てるときは、災害でやられた後の地図を書いとけとおっしゃっているわけです。座間も、さつき市長もおっしゃったように、ひばりが丘、相模が丘の道路の狭さ、これも非常に酷いものです。この辺にお住まいの方は全然御存知ないです。ひばりが丘の六道辻で出火したらとんでもないことになるわけです。そういう現実は全然御存知ないわけですが、とてもごみの戸別回収なんてできません。今ですら歩道を切り下げて車が歩道の上を走れるようにして道路の幅を確保しているという所があるわけです。そこでブロック塀が倒れたら、もうそこは終わりというような状態が何か所もあるので、やっぱりそういうことも含めた総合計画という、やられた後のことを考えておくということを担保した計画をぜひお願いしたいと思うのです。これは全国どこにもないですから、プランニングの会社がこれで売れます。絶対商品になりますので、やってみてください。

【コンサルタント】

ありがとうございます。もう一方、後ろの方いらっしゃったかと思えます。よろしくお願ひします。

【参加者】

私は立野台に住んでいて、今、小学5年生と小学3年生の子どもを育てています。今お話を伺わせていただいて、子どもに優しい、子育てのしやすいまちというのが1番多かったというお話を伺って、この時間帯の開催だと、私はたまたま今日主人が休みだったので、子どもを主人にお願いしてこの場に来ることができたのですが、どうしても子育て世代はこの時間に来てお話を聞いて意見をするというのがすごく難しいので、1番それが多かったということが、LINEだったので、LINEのツールが介しやすかったのがその世代だったかもしれないし、LINEが使えない方の意見を聴くとまた変わってくるのかもしれないのですが、ぜひ、子育てをしているお母さんたちがお話できる時間帯にもこういう場があると、やっぱりお友達でも、来たいけど、ちょっとこの時間だと厳しいから行けないっていう意見もあったので、昼間だと他のお仕事があったりで難しいのかなとは思ったのですが、1回だけでも平日だったり、土日の昼間だったりとかのタイミングにこの会をやっていただけると、子育て世代の意見がもうちょっと聴けるのかなというのが一つ思いました。

あと、もう一つですけど、私は子どもを育てていて、娘が一時学校に行けなくなってしまって、結構それですごい親子ともども辛い時期を過ごしたりしたことがあって、元気に学校に行けているお子さんはもうそれで良いというか、行っていっぱいお勉強したり、お友達と遊んだり、喧嘩をしたりとか、たくさんの経験をできたら良いのかなって思うのですが、やっぱり学校に行けないって、すごく親子ともども苦しくて、子どもが小学校2年生の時だったのですが、当たり前前に学校に行けない時に、何で私はできないのだろうってぼろぼろ泣き出しちゃったりとか家でする姿を見て、すごい私も辛くて、どうにかしてあげたいけどできなかったりとか。別にいじめられているとかという訳でも、はっきりした理由はないですけど、学校に行くとすごく疲れるとか、辛いとかっていうことを結構毎回聴くのも私はすごく辛くて。でも、いろいろな支援があったりとかして、今は親子ともども立ち直ってというか、行ったりはできていますけど、やっぱりコロナもそうだったりするとは思っているんですけど、そういうはっきりした理由はないけど、どうしても学校のシステムに合わないお子さんって一定数いるのかなっていうのをすごく感じて、そういうお子さんたちの受け皿になれるような場所が座間にあったら良いなってすごく思っている。そういう場所ってなかなかないし、あと、やられていてもどうしても結構お金がかかるので、お金がないとそういう子たちが行けるような場に行けないっていうのは、すごく大変だっていうのを思っている。だから、行けないお母さんたち同士がどうにかネットワークを作って、あんな所があるよとか、こんな所があるよっていうふうにながらやっていますが、それがもっと行政として、行けないお子さんたちもそこに行ったら集えるとか、小学校とか、中学校とか、公立の高校に行けないっていう子とか、その子たちにとってすごく世界が狭いので、絶望的っていうか、自分は何か存在しなくて良いのかなとか、それぐらいに思ってしまうことがあるのかなって思っているので、そういうお子さんが、行政として、ぜひぜひおいでっていう場所がもしできたら、座間に行ったらそういう場所があるよっていう、結構生きづらさを感じている親子の方が来られるよ

うになったら、すごい座間の人口が増えたりするのかなっていうふうに思ったので、そういうのができたら良いなって思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。こちら前から2番目の方、お願いします。

【参加者】

今日の議題の何とか会議とかっていう、ちょっと関係がないかもしれないですけど、僕はすごく単純な人間で、できるかできないかよりも、まず、やるかやらないかというのを重視する人間なので、ボランティアでみんな楽しくワイワイやるイベントを考えて、まちおこしをしようというボランティアを今やっていますが、痴漢抑止バッジを無料で配ったりとか、そういうようなのをやっていたりするのはですけど、いろいろ今話を聴いていると、まず、最初から言うと、座間の人口が増えてきたというのは、別に座間に魅力があるわけでも何でもないような気がするのです。単なる小田急線の人気があるだけで、本厚木、海老名、相模大野とか、その辺で溢れた人たちが座間に住んでいるだけじゃないかというふうにも思ったりするのです。僕も詳しく調べてないから分からないですけど、そういう意味でもちょっと分析が甘いじゃないかと思うのです。

市役所にクレームっていうか、文句じゃないですけども、まちづくり、まちづくりって言いますが、まちをつくるのは人ですよ。まず、人づくりです。人がそうやって思いやりを持ったり、助け合いをしたり、さっきおっしゃっていましたが、歌いたいと。歌わせてあげましょうよ。そういうのを見つけてあげましょうよ、場所を。そこからです。そしたらまた一生懸命考えてくれますよ。それが人助け、それがまちづくりにつながってくるのではないですか。

市役所っていうのは、皆様御存知のように、市民の役に立つ所じゃないですか。だから、僕は1回、発熱があったときに、市役所に電話して、病院ないですかと。ある1件の病院に電話したら、初診の方は診察できませんと言われたのです。初診の人を見てくれる病院はどこかないですかって市役所に聞いたら、いや、ちょっと市役所では分かりませんって言うのです。それで終わりですよ。じゃなくて、じゃ、ちょっと今探しますとか、もっと目線を下に下げて、そういうところになりましょうよ。だから、坂本龍馬じゃないですけど、もう一度日本を洗濯したく候じゃないですけど、もう1回市役所を思い切って、本気でやっているのかっていうぐらいにちょっとやってもらいたいですよね。いろんな話が出ましたが、あれは要望です。いろんな方の要望ですよ。それぞれに、それ一つ一つ取り組んでも良いのではないかと思います。今の子育て問題でも、子どもたちが集まる。1週間に1回でも良いじゃないですか。だって空き家がいっぱいあるのだから、その一つでもつくれば良いと思うのです。何でそれができないのだろうと思います。僕が市役所に勤めていたら、一生懸命やりたいと思いますよ、そういうのに。別にお金なんか要らないよと思いますね。そういうふうなことを今日は言いに来ただけです。

【コンサルタント】

今、3名の方から色々御意見をいただきました。ちょっと関連する御意見、まとめきれてはいませんが、まずは協働ということで、その前の協働のまちづくりの御意見に関連するかと思います。また、災害といった視点で、色々避難所とか今後の事を考えると、男女共同参画といった女性の目線といったことも重要になってくるのではないかという事、それと、子どもに優しいまちということで、具体的にこういった場をもう少し設けてはどうかという視点であるとか、支援が必要な方の受け皿といったこと。最後は、行政運営に関わってくる人づくりといった視点の御意見だったかと思います。いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見いただきましてありがとうございます。まず、男女共同参画というところ、災害における避難所運営などに対する女性の参加という視点での御意見だと捉えております。男女共同参画の計画が本市はございまして、それぞれの課において、どれだけ男女共同参画が進んでいるかということは、毎年評価をしましてまとめています。避難所運営に関しましても、やはり女性の視点というのは大変大切なことだと私も捉えております。また、災害時に市民の皆様がどのように行動するかということに関しましても、今、災害ボランティアネットワークの皆様と協働事業などで進めております。やはり市民の皆様に対しましても、啓発の活動、そして、市としてもその際に対応ができるような体制というのも大切だと思っておりますし、そこについてしっかりと今後も取り組んでいきたいと考えております。

また、不登校の問題ということで、大変お辛い思いを乗り越えてきたということでお話をいただきました。今、不登校の課題は、人数も増えてきている課題であり、生きづらさを感じているお子さんがいるということは課題として認識をしています。市としても、もちろん御存知だと思いますけれども、「つばさ」という不登校の方たちの対応をさせていただいたり、それから、これはボランティア団体になりますけれども、「あすなろの家」ということで、「ミナクルあすなろ」ということで活動していただいたり、また、各文化センターで学習支援もやっていただいたりということもございます。そういう中で、さらに、今、GIGAスクール構想も進んできておまして、ネットでの環境というのも整いつつあるので、そういったものを含めて、今後さらに、生きづらさを抱えているお子さんたちに対応できるような形を考えていかななくてはならない課題だと捉えています。

また、市役所は市民の役に立つ所ということで御意見をいただきました。私も市長になるまで、市議会議員としても様々なボランティア活動をさせていただいてまいりました。その中で、市民の感覚と行政側の感覚に乖離があるということを感じてきました。その中で、お互いに歩み寄れるような形で協働の事業を進められるような形を模索し、考えてきたところがあります。今、新規採職員の研修の中で、市の職員というのは、市民の方々のスーパーヒーローでなければいけないという話をさせていただいております。それは、市役所に市民の皆様が来るというのは、大体、

人生の大きな節目のときにいらっしゃいます。節目のときや困ったことがあったときなどに相談にいらっしゃいます。そういったときにやはり悩み事を解決できるような形で支援を御紹介させていただいたり、また、その相談を受けたところでは対応ができなくても、庁内のどこかでその対応ができないかといった横断的な対応をしていく。そしてまた、市役所だけではなくて、様々な地域の資源なども含めて対応を考えていくということが、これからの行政には大切なことだと考えております。なかなか行政だけでは解決ができないということが、今、本当に多様性のある社会の中で増えてきているので、その課題を解決するための手法をこれからも地域の皆様と共に考えていきたいと思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。時間の方も迫ってまいりました。もう一人ぐらい、特にまだ発言されていない方、もしいらっしゃれば、御意見いかがでしょうか。その後ろの方、お願いします。

【参加者】

先ほどごみの問題で提案させていただいた地域の者ですが、今まさにそちらの方が御意見言ったように、やってみるということを市の職員の方に要望します。ということは、私、先ほどの市長さんの御説明で、道路が狭いとか色々な事でやはり座間市はなかなか困難だというお話だった。やっぱりそれを聴くと、私は単純に、あ、やっぱり駄目か、そういう問題もあるなと思ったのです。でも、先ほどの方の御意見で、やはり、やってみる、考えてみるという努力を市の職員の方にして欲しいと思うのです。こういう意見が出たら、それじゃ、本当に道路の狭いところでの収集は無理なのかどうか、無理だったらこうやったらできるのではないかという話し合いが、本当に座間市のごみ収集の方たちの中で、こういう意見が出たときに議論されているかどうか、私は今、はっと気が付いたのです。ですから、こういう意見があったから、道路が狭い所もあるから駄目だ、それから、それを希望しないところがあるから駄目じゃなくて、取りあえず出た意見に関して、本当にできるかできないかを討論してほしい。その事をやはりちょっとお考えいただけたらなと思います。やっぱりやる姿勢というのを考えてくださるという姿勢は、私は市に要求したいと思います。お願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その前の方ですけれども、その他、よろしいですか、まだ発言されていない方。でしたら、すみません、最後、簡潔によろしくお願いします。

【参加者】

御近所の方に伝えてきてほしいって頼まれたのですけれども、子どもさんの通学路でちょっと危険だなんて思う所があるって言われました。入谷東三丁目ですけれども、個人のお宅ですけど、

高い所に建ってしまっていて、そのブロック塀が、その上に建っているのですが、そのブロック塀がかなり古くなっていて、崩れるのではないかと。崩れたときにとっても危険だと言っているのです。反対側を通れば良いのですが、右側通行なので右側通行するとその下を通らなきゃいけないから、いつも危険だなと思って見ているって言われたのですけれど。

【コンサルタント】

ありがとうございます。地域の通学路ブロック塀とか、そういった課題もあるということだったかと思います。お時間も迫ってまいりましたので、本日いろいろ御意見いただきました。後ほど市長から総括ということで、今出していただいた御意見も少しコメントいただければと思います。

本日、最初に、活気あるまちというような御意見ということで、それは市民の、地域の活動の場でありますとか、そういった集う場というものが必要になってくるのではないかと。その中で、高齢の方とか、そういった健康づくりの場でもいろいろ苦慮なさっているというような御意見等もありました。

また、地域活性化という視点で、自治会の加入率でありますとか、協働のまちづくりに関する御意見等もあったかと思います。

また、公共施設といった視点、個別の計画でもあるかもしれませんが、公共施設の再整備計画というものが重要じゃないかといったこと。

また、最後の御意見にもありましたけども、ごみ問題の話であるとか、それをやるための市のいろいろ行政の運営、人づくりといった視点も重要になってくるかと思います。

あと、後半いただきました子育て、子どもに優しいまちということで、子ども、子育てについての御意見ということ、また、もっとそういった子育ての方の意見を聴く場というようなこともあったら良いなというような御意見だったかと思います。

最後は、少し生活の中で困られているというような通学路ブロック塀のそういった問題も、これは災害のときとかも重要になってくることかと思います。

全体を最後総括いたしまして、市長からいただければと思います。よろしく申し上げます。

【市長】

本日は大変貴重な御意見をそれぞれにいただきまして、本当にありがとうございます。最後に御意見いただいたところをコメントしてから、総括的にお話をさせていただきたいと思います。

まず、ごみの有料化の件ですけれども、これについては、資源対策課としてもずっと検討をしているところであります。もちろん道路が狭いという問題、また、戸別収集ができるかどうかという問題、また、ごみの有料化に対してどれだけの方が望んでいらっしゃるかという課題もあると思っております。また、有料化と戸別収集というのは、この辺りでは何となく大体セットになっておりますけれども、地方に行きますと、有料化であっても戸別収集はせずに、ごみ袋だけを有

料化するというような手法もあつたりします。この課題については、やはりごみの減量化を進めていく中で、有料化をしていくことが本市として本当に良い施策になるのかどうなのかということ、そしてまた、地域の皆様の高齢化という部分も含めて考えていかななくてはならない課題だというふうに認識をしておりますし、今後も検討を続けていきたいと思っております。

それから、通学路のブロック塀の関係ですけれども、恐らく私有地、個人の持ち物のブロック塀なのかなと思うのですが、ブロック塀の関係は、補助金も出ておりますので、そういったものも活用していただいて、その危険を回避するような形を取っていただけたらと思います。個人の持ち物に関して、市役所として補助を出したりということ以外はなかなか手を付けられるものではないので、その辺りは御理解をいただければと思います。

【参加者】

相談はできるじゃないですか

【市長】

はい。その辺りは御理解をいただければと思いますし、また、個別の課題に関しては、今回ここで回答をすべきものではないので、また都市部に御相談を個別でいただければと思います。

本日は、それぞれのお立場から様々な御意見をいただきました。今、座間市としまして、様々な活動をしていただいている団体の皆様、そして、地域がどのようにあるべきか、今後の地域はどのようにあるべきなのかということが本当に岐路に立っていると思っています。市内で活動されている団体や自治会、これまで様々なボランティア団体なども活動しておりますが、大変それぞれの団体で高齢化が進んでいまして、大変良い活動をしているにも関わらず、なかなかそれが引き継がれていかないのではないかということも大変懸念をしております。市民活動サポートセンターや、こちらにございますボランティアセンターなどもございますが、その情報が若い世代になかなか伝わっていなかったりすることもございます。少し団体の活動の切り口を変えてみたり、つなげる方たちの少し視点を変えて広げてみたりということで、活動する中で活性化をしていった団体というのもありますので、今、座間市では公式LINEを開設しております、こちらが6万2千人登録をしていただいております。情報発信のツールというのも大変重要だと思っています。LINEによって情報発信をすることで、今まで知らなかった方たちがそういった市の情報や様々な情報を得ていただくということも大切なことだと思っています。今、本市ではDX化に向けても進めています。DX化が、市民の皆様にとって暮らしがさらに利便性が高まるような形を取っていきたくとも思っておりますし、また、デジタル化で取り残されるような方々がないような取組も必要だと考えております。それぞれの地域で活動をしている方たちをつなげていく。そして、つなげていくことで良い化学反応が起きて活性化につながるような取組をしていきたいと考えております。

本日は大変有意義な御意見をいただきましたので、皆様の御意見を精査させていただきながら、今後の第五次総合計画に活かしていきたいと考えております。今後とも市政運営に対しまして御理解、御協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。限られた時間の中で皆様御意見いただきまして、進行にも御協力、どうもありがとうございました。それでは、進行を事務局のほうにお返しいたします。

5. 閉会

別ファイルにまとめています。